

令和6年度ダム防災操作研修のご案内

気候変動の影響により、近年異常洪水が頻発しており、事前放流を含めた適切なダム防災操作が求められています。ダム防災操作は、原則を踏まえた基本的操作とともに異常洪水時防災操作など状況に合わせた臨機の対応も理解しておくことが必要です。

水資源機構総合技術センターでは、ダム防災操作業務に関わる方々の技術力向上を目的としてダム防災操作訓練シミュレータを用いた研修を開催しています。研修では経験豊富な講師による講義と共にシミュレータを用いて実践に近いダム防災操作を体験して頂くことにより、ダム防災操作の基本と事前放流、異常洪水時防災操作などの実践的な操作を学んで頂きます。

研修には基礎、応用があり、ダム防災操作の経験が無い方から操作責任者となる方までレベルに応じた研修内容となっています。

ダム防災操作業務に関わる方々がダム防災操作の基本や事前放流、異常洪水時防災操作について実技を経験する機会として是非本研修の活用をご検討下さい。

【募集期間】 令和6年4月～令和7年1月（ただし、令和6年5月16日～6月30日を除く）
上記期間において都合の良い日（平日）を研修実施日として調整させていただきます。

【研修場所】 独立行政法人 水資源機構総合技術センター 研修室又は Web

【研修種類】

①ダム防災操作研修（基礎・集合）	2日間
②ダム防災操作研修（基礎・Web）	2日間
③ダム防砂操作研修（応用・集合）	2日間
④ダム防災操作研修（応用・Web）	2日間
⑤ダム防災操作研修（応用・Web）	1日間

【Web 準備】 Web 研修の場合は以下の準備が必要です。

- (1) インターネット接続（zoom を使用）による遠隔操作でシミュレータ等を操作して頂きますので、研修用として各自パソコンが2台必要となります。
- (2) 受講料には研修教材費を含みます。（教材は事前に送付します。）
- (3) パソコンの準備が難しい場合は、別途有料（10,000 円/台（消費税、往復送料込み））の貸出しも行いますので、必要な方はご相談ください。

【申し込み】 3～4名/班として組織で班単位での申し込みとなります。Webの「申込フォーム」からお申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/mpfGc7vL12>

お問合せ先 独立行政法人 水資源機構総合技術センター

マネジメントグループ長 上野（うえの）、渡邊（わたなべ）

住 所：〒338-0812 埼玉県さいたま市桜区大字神田 936 番

電 話：048-853-1785（代）

受付時間：平日9：15～17：45

【ダム防災操作訓練シミュレータ】

ダム防災操作訓練シミュレータは、水資源機構が管理しているダムの疑似操作ができるように独自に開発した訓練システムです。

このシミュレータでは、平成 30 年西日本豪雨や令和元年台風 19 号などによる過去の実績洪水を再現でき、降雨予測及び下流河川水位等に留意しながら、ゲート放流等のダム防災操作を疑似体験することができます。

《シミュレータの特徴》

任意の洪水（実績、仮想）に対して以下に示すダムの防災操作に係る疑似体験ができます。

- (1) ガイド（洪水波形表示）あり、なしでの訓練
- (2) シミュレータの設定による任意の場面での操作
- (3) シミュレータの時間操作（早送り、一時停止等）による一連の防災操作
- (4) 実績洪水に対する事前放流、ステップ放流、洪水調節、異常洪水時防災操作
- (5) 特別防災操作としての下河川等の浸水被害を防ぐための判断と放流操作

《シミュレータの受賞実績》

令和元年 第 11 回全国河川・ダム管理技術検討会 最優秀賞（ダム部門）

令和 2 年 第 23 回 国土技術開発賞 入賞

【令和 4 年度研修実績】 40 名

《基礎研修コース》（集合） 32 名

《応用研修コース》（集合） 8 名

【令和 5 年度研修実績】 19 名

《基礎研修コース》（集合） 12 名

《応用研修コース》（集合） 7 名

〈受講された方の感想〉

- ・ 操作要領を読んで理解していた操作と実際の操作では大きく異なっていることに気づけました。
- ・ 訓練シミュレータを用いた実技訓練という貴重な経験をさせていただき、非常に良い経験となりました。
- ・ 流入量や降雨の予測だけではなく、通知や巡視、バルブからゲートへの切替などのタイミングを考慮しながら、操作を実施されていることを知ることができました。
- ・ 実技を踏まえながら基礎編・応用編と段階を踏んで学習することができたため、計 4 日間という短い時間でしたが貴重な経験となったと思います。

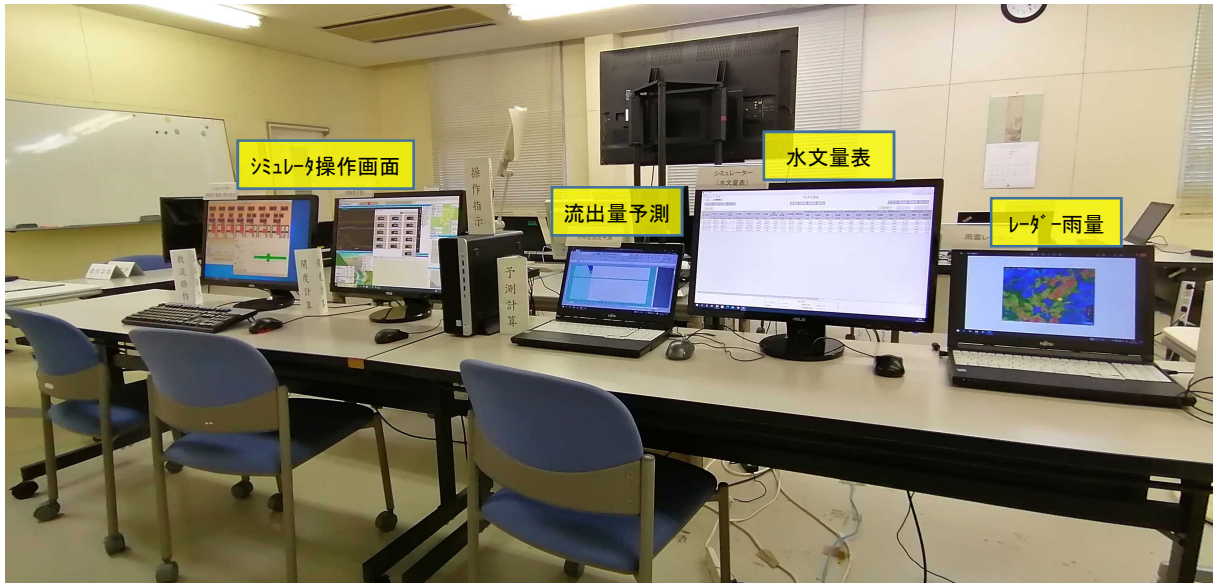
【アクセス】 公共交通機関

- ① 京浜東北線・高崎線・東北本線 浦和駅から
国際興業バスで大久保浄水場行きに乗車。
「埼大裏」で下車（所要時間約30分）、すぐ。
- ② 京浜東北線 北浦和駅から
国際興業バス又は西武バスの埼玉大学行きに乗車。
「埼玉大学」で下車（所要時間約15分）後、徒歩
約10分。
- ③ 埼京線 南与野駅から
国際興業バスの埼玉大学行きに乗車。
「埼玉大学」で下車（所要時間約10分）後、徒歩
約10分。

道路上に「総合技術センター試験場」という看板があります。



《集合研修施設（基礎）》



※通知文、出水時報告、クロノロは別途手書きで作成

《Web 研修施設(基礎)》



※上記画面を Zoom を用いて遠隔操作にて切替え

《研修風景》



《基礎研修コース》

【研修概要】①ダム防災操作研修（基礎・集合）

ダム防災操作経験の少ない方に基本的なゲート操作、放流通知、出水時報告、異常洪水時防災操作等について学んで頂きます

総合技術センター内の研修室にて行いますので、研修生同士で話し合ったり、気軽に講師と会話することが出来、防災操作に関する理解が深まります。

実施期間：2日間コース。実施時期についてはご相談下さい。

実施方式：対面による講義・演習（具体的内容については別紙1のとおり）

募集人数：3～4名/班 単位 最大2班/回

受講料：1名につき67,000円（消費税込み）

【研修概要】②ダム防災操作研修（基礎・Web）

ダム防災操作経験の少ない方に基本的なゲート操作、放流通知、出水時報告、異常洪水時防災操作等について学んで頂きます。

Webによる研修となりますので遠方の方でも気軽に参加出来ます。なお、研修前に通信環境やシミュレータ等の遠隔操作について確認するため、各自通信テストを受けて頂きます。

実施期間：2日間コース。実施時期についてはご相談下さい。

実施方式：Webによる講義・演習（具体的内容については別紙2のとおり）

募集人数：3～4名/班 単位 最大2班/回

受講料：1名につき74,000円（消費税込み）

《応用研修コース》

【研修概要】③ダム防災操作研修（応用・集合）

ダム防災操作の基本について理解されており、操作責任者としての役割を求められる方に異常洪水時防災操作、事前放流に関して線状降水帯の降雨状況に合わせた放流通知、放流計画策定について学んで頂きます。合わせてトラブル対応の事例紹介も行います。

総合技術センター内の研修施設にて行いますので、研修生同士で話し合ったり、気軽に講師と会話することが出来、防災操作に関する理解が深まります。

実施期間：2日間コース。実施時期についてはご相談下さい。

実施方式：対面による講義・演習（具体的内容については別紙3のとおり）

募集人数：3～4名/班 単位 最大2班/回

受講料：1名につき67,000円（消費税込み）

【研修概要】④ダム防災操作研修（応用・Web）

ダム防災操作の基本について理解されており、操作責任者としての役割を求められる方に異常洪水時防災操作、事前放流に関して線状降水帯の降雨状況に合わせた放流通知、放流計画策定について学んで頂きます。合わせてトラブル対応の事例紹介も行います。

Webによる研修となりますので遠方の方でも気軽に参加出来ます。なお、研修前に通信環境やシミュレータ等の遠隔操作について確認するため、各自通信テストを受けて頂きます。

実施期間：2日間コース。実施時期についてはご相談下さい。

実施方式：Webによる講義・演習（具体的内容については別紙4のとおり）

募集人数：3～4名/班 単位 最大2班/回

受講料：1名につき74,000円（消費税込み）

【研修概要】⑤ダム防災操作研修（応用・Web）

ダム防災操作の基本について理解されており、操作責任者としての役割を求められる方に事前放流を中心に線状降水帯の降雨状況に合わせた放流計画策定について学んで頂きます。

Webによる研修となりますので遠方の方でも気軽に参加出来ます。なお、研修前に通信環境やシミュレータ等の遠隔操作について確認するため、各自通信テストを受けて頂きます。

実施期間：1日間コース。実施時期についてはご相談下さい。

実施方式：Webによる講義・演習（具体的内容については別紙5のとおり）

募集人数：3～4名/班 単位 最大2班/回

受講料：1名につき42,000円（消費税込み）